

沖縄総合事務局 開発建設部 建設コンサルタント業務審査委員会
議事概要(港湾空港所管)

開催日及び場所		平成24年5月28日(月) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室	
委 員		委員長 原 久夫 (琉球大学工学部環境建設工学科 准教授) 委 員 下里 哲弘 (琉球大学工学部環境建設工学科 准教授) 委 員 渡嘉敷 直彦 (琉球大学工学部環境建設工学科 准教授)	
対象案件		総件数 3 件	(備考)
建設 コン サル タ ン ト 業 務	一般競争入札(総合評価落札方式)	件	
	公募型プロポーザル方式	件	
	簡易公募型プロポーザル方式	1 件	
	簡易公募型に準じたプロポーザル方式	1 件	
	標準プロポーザル方式	件	
	公募型総合評価落札方式	件	
	簡易公募型総合評価落札方式	1 件	
	簡易公募型に準じた総合評価落札方式	件	
		意 見 ・ 質 問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する回答等		別紙のとおり	別紙のとおり
委員による審議結果の内容		上記について、発注方式、評価基準、評価結果等の説明を行い、原案通りました承された。	

(別 紙)

意見・質問	回 答
<p>○事案の審議について</p> <p>1. 簡易公募型総合評価落札方式</p> <p>1) 那覇空港滑走路増設基本検討業務</p> <ul style="list-style-type: none">○ 入札説明書交付から参加表明書の提出期限の10日間は何から決められているのか。期間を長く設定できないのか。○ 地域精通度での評価について、業務内容・目的に記載が無いが、どのように評価判断するのか。○ 入札説明書評価テーマ③における「与条件」は詳しく条件明示したほうがよかったのでは。○ 評価テーマの配点表「地域特性」とは何を示すのか。 <p>2. 簡易公募型プロポーザル方式</p> <p>1) 現場条件に応じた竹富南航路の施工法に関する調査</p> <ul style="list-style-type: none">○ 一者応募となっているがどうしてか。業務内容的にはもっと応募があつて良い気がするが。○ 特定テーマ「工事費抑制対策」とあるが比較できる標準工事はあるのか。○ 竹富南航路における急峻な箇所を請負者はどう知り得るのか。 <p>3. 簡易公募型に準じたプロポーザル方式</p> <p>1) 平良港(漲水地区)岸壁(-7.5m)(耐震)外1件基本設計</p> <ul style="list-style-type: none">○ 技術提案テーマ「東日本大震災を踏まえた」とはどういう意味か。○ 特定テーマに「沖総局により実施された津波シミュレーション業務」と記載があるが、これは特記仕様書の提供資料「平成23年度平良港地震波検討業務」のことか。	<ul style="list-style-type: none">・ ガイドラインで標準設定されている。業務内容によるが、今回は11日で十分と考え設定している。・ 評価については入札説明書に記載してあることから、敢えて業務内容・目的には記載していない。・ 特記仕様書の記述で十分と判断した。・ 検討箇所に係る自然条件および現空港に係る制限表面等のことである。・ 入札説明書をダウンロードした企業に参加表明しなかった理由をお伺いしたところ、人員の体制が整わなかった、情報収集のためにダウンロードしたものといったお答えであった。・ 本年度、平坦な海底の浚渫を施工するが、急峻であるなど海底地形が変化しても、可能な限りコストを抑制できる対策を検討するもの。・ 入札説明書において、閲覧可能としている資料に記載されている。・ 直近の災害の状況を十分に把握して今回の業務に活かせるような業者が受注すれば、より優れた成果が期待できると考え設定した。・ 別業務である。「沖総局により実施された津波シミュレーション業務」は港湾計画課がH23年度に発注した業務である。